

Q トナカイ観光牧場ノースガーデンのブルーポピーは少ししか咲いていない。また、花壇の雑草がすごい。Q コスモスやヒマワリなど、長く咲く花を道路脇に植えてはどうか。

A ブルーポピーは暑さに弱く、近年、特に夏の気温上昇が生育に悪い影響を及ぼしている状況。一方で、できるだけ長い期間、ブルーポピーの開花を見ていただけると、時期を分け植え付けをしている。ノースガーデンについては、岩場に花が咲いているイメージで作っているが、実際、雑草が多く魅力を十分に伝えることができていないことから、いただいたご意見も踏まえ、工夫・改善に努めていく。

Q 栄町の公営住宅はあと何年くらい使う予定なのか。A 昭和45年建築の栄町の公営住宅については、将来的には取り壊すということで、空家になったら新規入居者は募集しないこととしている。

Q 栄町の公営住宅は4区画72戸あるが、16戸が空いている。例えば1区画を潰して、ごくくろ団地のような団地を建てる予定はないのか。

A 栄町の公住については、宮園団地への住み替えも進めており、1棟4戸が全部空いたら更地にして、今後どう整備するか決めていきたい。ただ、家賃が高くなるし、近隣と一緒に入居してもらおうのが一番良いと思うが、難しい。

Q 今年度実施したハイヤーの助成は、令和5年度もやるのか。高齢者はすごく喜んでいますが、ちよっと枚



数が足りない気がする。A 新年度の予算には、今年度と同じかたちで実施する予算組みをしている。

Q 基幹産業である酪農が危機的になってきている。

幌延町は将来に向けての基盤がしっかりできていない町としてもいろいろ支援対策や新規就農の受け入れ準備をしたりはしてくれているが、実際に新規就農にしても1組研修に入っているだけ。もっとあの手、この手で対策をしてほしい。

A 昨年から協力隊のシステムを活用しながら、新しい就農のスタイルを作ろうということでの研修を進めている。全国から見ただけの媒体を使い、協力隊の募集をしている。今の1組だけで終わるのではなく、もう少しPRしながら引き続き募集にも力を入れていく。また、わが町は受け入れ体制が脆弱なため、教育が出来るような施設だったり、引き受けの出来る農場だったりを考えていきたい。

Q バイオマス産業都市構想のその後はどうなっているのか。

A 現在、ウクライナ情勢の悪化等による物価高騰が酪農業に深刻な影響を与えていることから、今、酪農家が設備投資をする時期ではないと思っている。しかしながら、引き続き勉強会や講演会などにより、バイオマス資源の有効活用や環境負荷の低減について地域で勉強する機会を設けていきたい。また、国に対して、期成会等を通じてバイオガスプラントの整備・運営について、家畜ふん尿を活用した再生可能エネルギーの活用は持続可能な社会の構築にあたり有用であるとの考えのもと、補助等の充実に関する要望をあげている。

Q 問寒別の鉄道敷地横を鹿が横断し、畑の豆などを食べられて困っている。なにかよい方法はないか。

Q アライグマの檻を町から借りて捕獲しているが、檻が小さくて逃げられる。もう少し大きくしてほしい。A アライグマの箱罠は、

来年度予算の中でもう少し大きいのを買い足す予定。鹿については、くくり罠をかけられる場所があればいいが、市街地なので難しい。少し検討させてほしい。

Q 雄信内地区に救急車を1台配備し、雄信内と問寒別のほうに少しでも早く救急車が対応できるように体制を消防組合でとれないか検討してほしい。

A 組合は羽幌町以下6町村で成り立っているが、それぞれの町のハード面、ソフト面の費用はそれぞれで負担している。救急車を配置となると、それだけでなく、車庫があったり、そこで寝泊まりする救急隊員だったりが必要となる。救急救命士などが3名いないとならないし、ローテーションがあるので3人ではすまない。ひとつの消防隊のようになるということで、その人件費などの経費を天塩町と折半するにしても相当な額になる。なかなか難しい話だが、天塩町とも相談はさせていただく。